



元村 伴子さん
Motomura Tomoko

〔横田区〕

もとむら ともこ / 御船警察署協議会会長。同協議会委員3期目。今年6月に、同協議会会長に就任した。甲佐町の住民代表として警察と協力して地域の安全向上に努める。

住民と警察をつなぎ このまちの安全を高める

「甲佐の皆さんが安全安心に生活できるように、住民の皆さんの声を身近で聴き、住みやすいまちにしていきたいです」と話すのは令和5年6月から御船警察署協議会会長に

就任した元村伴子さん（横田区）。

警察署協議会とは、警察業務の運営に民意を反映させるため、住民の意見を聴くとともに、業務運営について、理

解と協力を得る場として平成13年6月に設置。御船警察署協議会は、甲佐町・御船町・益城町・嘉島町の4町の住民を代表する委員で構成され、年間3回開催される会議で警察と意見交換を行う。

元村さんが同委員に就任したのは4年前。当時の御船警察署長からの打診がきっかけ

だ。二つ々、本町の人権擁護委員や教育関係の委員を務めており、住民や学校目線で地域における安全に関する問題に日常的に関わっていました。この経験を活かし、本町の住民と警察との橋渡し役になれるならば頑張ってみようと思い就任を決めました」と話す。

元村さんが、地域での見守り活動や、学校を訪問した際に聞いた危険箇所について協議会で意見を出したことで、横断歩道が設置されたり、消えかかった道路表示の白線が引き直されたりなどして生活環境が改善されたという。「先生や保護者、地域での雑談など、日常的な会話を通して住民の皆さんの声を取り入れています。警察も私たちの要望を真摯に受け止め、対処していただけるので心強いです」と警察署との関係も良好だ。

「近年、スマートフォンの普及によりネット犯罪に子ど

もたちが巻き込まれることが急激に増えてきました。子どもたちや保護者の皆さんに正しい知識を身につけてもらうため、警察や委員の皆さんと協力して取り組みたいです」と今後の意気込みを語る。

「甲佐町の課題は、ほかの町にも当てはまるものが少なくありません。全体のまとめ役として警察や委員の皆さんの意見を集約し、4町の安全安心なまちづくりに努めたい」と話す元村さんは、御船署管内の安全安心のため、地域と警察署の架け橋となった活動を展開する。



▲堀田博士御船警察署長から同協議会委員の委嘱状を受け取る元村さん